

職員は大学を動かせるか

社会が大学に期待する役割が拡大するなか、職員が果たす役割には広範かつ、より一層の専門性が求められており、日頃から能力向上を図る姿勢と、その前提としての意識向上が不可欠となっています。

このたび、職員の自主的なSD活動が全国から注目されている山形大学において、活動を中心的に担ってきた職員をお招きし、講演会を開催します。

**信州大学職員として、どのような意識を持ち業務を遂行すべきか。
そのために、日頃からいかに能力を向上させていくべきか。**

いま、改めて自らに問い直し、実務に活かしていくきっかけになれば幸いです。

日 時 : 2013年 9月20日(金) 15:00-17:00(開場: 14:40)

※研修終了後、講師を囲んで懇親会を予定しております。(18:30~、会場:松本市内)

会 場 : 旭会館 3階 大会議室(SUNSシステム配信予定)

対 象 : 信州大学全職員(教員の方の参加をお待ちしています)

主 催 : 経営企画部

プログラム

※ 都合により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

15:00~15:05

山沢学長 あいさつ

15:05~15:50
講演

「山形大学でプレイフル！」
～山形大学での経験から見てきたこと～
国立大学法人山形大学 小白川キャンパス事務部
人文学部事務室 係長 樋口 浩朗 氏

15:50~16:00

休憩

16:00~16:55
トークセッション

「職員は大学を動かせるか」
山形大学 樋口 浩朗 氏、信州大学職員(3名)
<コーディネーター> 信州大学理事 渡邊 裕 氏

16:55~17:00

松川理事 あいさつ

講演者プロフィール

講演者: 樋口 浩朗(ひぐち ひろお) 氏
修士(大学アドミニストレーション)
国立大学法人山形大学 小白川キャンパス事務部
人文学部事務室 係長
山形大学を卒業後、山形大学に就職
2006年 桜美林大学アドミニストレーション専攻修了



略 歴:

山形大学で「若手4人衆勉強会」(平成13年)を立ち上げ、自己啓発活動を開始した。本勉強会では自主的に大学運営について討議し、その結果は提言として当時の学長に手渡されている。その後、本勉強会が中心となった活動は、同大学の「いぶき」「シリウス」等の自主的なSD活動に結びつき、現在では、他大学職員も参加する全国的な活動として注目されている。

また、山形大学での勤務と並行して、桜美林大学大学院でアドミニストレーション専攻を履修し、大学の行政・管理・運営にわたる専門的知識・能力を修得するとともに、現在も、講演や事例発表等、日本全国で積極的な活動を継続している。

本講演会では、SD活動の事例や知識を提供いただくとともに、併せて、今後、大学職員がどのような意識を持って業務に携わっていくべきかという観点から、樋口氏が日頃から大学職員として心掛けていることやモチベーション向上・維持のための方策、大学職員間のネットワークの活かし方など、多くの示唆が得られるものと期待される。

活動内容:

【事例発表】

- 平成24(2012)年 9月 : 宮城学院女子大学「職員研修会」
- 平成24(2012)年 6月 : 岡山大学「若手職員塾」
- 平成24(2012)年 3月 : 鳥取大学「事務改善講演会」
- 平成23(2011)年11月 : 大阪大学「意識改革に関する講演会」
- 平成23(2011)年11月 : (社)日本能率協会「大学SDフォーラム「実践! 地域連携の進め方基礎セミナー」」(講師)
- 平成23(2011)年 9月 : 高等教育コンソーシアムにいがたSD研修会
- 平成23(2011)年 9月 : 長崎県立大学SD研修会
- 平成22(2010)年11月 : 第2回大学マネジメント改革総合大会「地域連携と大学づくり」
- 平成22(2010)年 9月 : 公立大学協会公開シンポジウム「大学職員の教育」
- 平成21(2009)年12月 : 大学コンソーシアム石川SD研修会
- 平成21(2009)年12月 : 第1回大学アドミニストレーターコロキウムinいわて2009
- 平成21(2009)年12月 : 九州大学第4回教育改革研究会「魅力ある大学職員という仕事」
- 平成21(2009)年 7月 : 公立大学協会SDセミナー

【話題提供】

- 平成24(2012)年 6月 : Q-LINKS(九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク)「第2回組織開発プロジェクト」
- 平成23(2011)年 1月 : 横浜国立大学「第4回学びのひろば」

【投稿・執筆】

- 平成24(2012)年10月 : 『Between2012 10-11月号』「大学改革実行プランへの視座」にコメントを掲載
- 平成23(2011)年11月 : 『Between2011 10-11月号』に「大学発の社会変革をめざして」を掲載
- 平成23(2011)年 3月 : (社)日本能率協会『大学職員ナレッジ・スタンダード大学業務知識編Ⅱ「第6章第3節地域連携の形態と動向」』執筆

【パネリスト等】

- 平成24(2012)年 7月 : 桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科公開研究会
- 平成21(2009)年 8月 : 全国私立大学FD連携フォーラム「これからのSDの方向性」
- 平成21(2009)年 3月 : 大学コンソーシアム京都FDフォーラム「教職協働—教員と職員の協働作り」